

2019 事業年度 事業報告

本財団は、機械の生産において工作機械を中心とした高度生産システムに係わる研究開発、利用等に関する援助及び助成を行うとともに、国際的技術交流を通じて、機械の生産技術の高度化を図り、わが国及び世界の機械産業の発展に寄与することを目的として事業を行っています。

1. 年間活動報告 (2019年4月1日から2020年3月31日)

本事業年度の各事業は、2019年3月開催の理事会、評議員会において承認された2019事業年度事業計画に基づき、ほぼ予定通り実施しました。

2019年

- 4月25日 ・会計監査完了

- 5月16日 ・2018事業年度「マザック高度生産システム研究助成者発表並びにマザック高度生産システム優秀論文賞表彰式」をヤマザキマザックマニュファクチャリング(株)美濃加茂製作所オーデトリウムにて開催。
その後、交流会及びワールドテクノロジーセンターと工場ご案内。
- 17日 ・2017事業年度 研究助成の研究成果報告書冊子配布
・2018事業年度 助成金払込み完了
- 29日 ・第23回理事会(書面)開催

- 6月14日 ・第15回定時評議員会,第24回通常理事会をマザックアートプラザにて合同開催
- 26日 ・内閣府へ定期提出書類(事業報告)提出

- 7月 2日 ・法務局へ役員変更登記完了
- 29日 ・内閣府へ役員変更届提出

- 9月 1日 ・2019事業年度 研究助成,国際会議助成,論文表彰募集開始

- 10月15日 ・第25回通常理事会を名古屋東急ホテルにて開催
- 23日 ・内閣府による立入検査実施

- 11月30日 ・研究助成申請 31件
論文表彰申請 27件
国際会議助成申請 7件 で締め切る

2020年

- 2月12日 ・審査委員会開催
研究助成 19件
優秀論文表彰 18件
国際会議助成 4件 選定

- 3月16日 ・第26回理事会(書面)開催
- 25日 ・第16回評議員会(書面)開催
- 26日 ・内閣府へ定期提出書類(事業計画・収支予算)提出

2. 前年度（2018 事業年度）研究助成の成果報告

前年度研究助成対象先 19 件のうちの下記 19 件について研究成果の報告を受け、小冊子にまとめました。（2020 年 4 月現在 所属先）

名古屋工業大学	前川 覚	摺動面の表面粗さ設計に基づくすべり案内面の高精度化
大阪大学	杉原 達哉	SOME OBSERVATIONS ON HOW MECHANOCHEMICAL EFFECT DETERMINES DEFORMATION MODE AND CHIP MORPHOLOGY IN CUTTING OF METALS
金沢大学	小谷野 智広	放電加工によるサブマイクロメートルオーダーの極微細穴加工の実現
Korea Institute of Machinery & Materials	鄭 弘鎮	Chatter stability analysis of ultrasonic elliptical vibration cutting
慶應義塾大学	小池 綾	過冷却現象を応用した氷の 3D プリンタ
大阪大学	遠藤 勝義	非接触三次元ナノ形状測定法における光路長の絶対測定
近畿大学	原田 孝	Gaudi ネジとローラピン組込ナットを用いた高効率差動ネジ駆動機構の開発
室蘭工業大学	寺本 孝司	切削加工における工作物剛性低下を考慮した実工作物把持力モデリングに関する研究
岡山大学	岡田 晃	ハイブリッド粉末混入放電加工による高機能硬質金型仕上げ面の創成
神奈川大学	由井 明紀	Effect of grinding wheel safety guard thickness in the collision of a conical projectile
大阪産業大学	栗田 裕	薄肉円筒工作物の切削加工時に発生する工作物変形型びり振動
上智大学	田中 秀岳	Machinability of unwoven fabric material by end-mill
東京工業大学	中野 寛	被削材強制加振による時間遅れ量変動を利用した再生びり振動抑制に関する研究
埼玉大学	金子 順一	ワイヤアーク式金属積層によるニアネットシェイプ造形品を対象とした切削抵抗予測技術の開発
岡山大学	岡本 康寛	ピコ秒パルスレーザを用いたガラスと半導体材料の高品位接合法

一般財団法人ファインセラミックスセンター	石川 由加里	パワーデバイス用ウエハの研削加工変質層評価法の開発
名城大学	成田 浩久	安定限界線図を求めないびり回避方法の提案
徳島大学	石田 徹	折れ曲がり電極を用いた多軸制御放電加工による複雑形状穴の創成を実現するための荒／仕上げ加工用 CAM の開発
九州大学	堤井 君元	遷移金属上への高品質立方晶窒化ホウ素の直接コーティング

3. 2019 事業年度助成金公募および助成金交付先

定款第 4 条 (1) に従い、高度生産システムに係わる、工作機械の機械要素技術や制御技術、工作機械による加工技術、被削材や工具などの材料技術、ロボットや搬送装置など周辺装置とその制御に係わる技術、また生産システムを構築、運用するための生産技術や情報通信技術に取り組んでいる国内・海外の個人及び大学、各種研究機関に対して援助・助成を実施しています。

本事業年度は、研究助成応募 31 件、国際会議助成応募 7 件であり、いずれも 2019 年 2 月 22 日の審査委員会にて選考を行い、3 月 16 日の理事会にて承認を得て、研究助成 19 件、国際会議助成 4 件（内 2 件の国際会議は、新型コロナウイルスの影響で中止となり、助成を辞退）を決定しました。

※助成実績にて研究助成先・国際会議助成先リスト掲載しております。

4. 2019 事業年度論文公募と優秀論文表彰

定款第 4 条 (2) に従い、若手研究者を対象とした論文募集を行い、優秀論文を顕彰しています。

本事業年度は、応募件数は 27 件で、2019 年 2 月 22 日の審査委員会にて選考を行い、3 月 16 日の理事会にて承認を得て、優秀論文特別賞が 1 件と、17 件の優秀論文賞を選定しました。

※助成実績にて優秀論文の表彰リスト掲載しております。